

2014年4月研究会

日 時：2014年4月18日（金曜）18:00～19:30

会 場：同志社大学寒梅館 6階 大会議室

講演者：林廣茂（西安交通大学管理大学院客員教授、本学会代表理事）

演 題：『企業持続の経営哲学』序 ～商人道から経営哲学へ～ 』

司 会：古家野彰平（本学会理事）

主 催：一般社団法人事業承継学会

同志社大学技術・企業・国際競争力研究センター（ITEC）

講師プロフィール

林 廣茂（はやし・ひろしげ）

【職歴等】

1978年－2002年外資系のマーケティング・コンサルティング会社でコンサルティングに従事、アジア地区 CEO。02年滋賀大学経済学部・大学院経済学研究科教授、滋賀大学産業共同研究センター所長（兼任）。04年同志社大学大学院ビジネス研究科教授。11年中国・西安交通大学管理大学院客員教授。著書に、『国境を越えるマーケティングの移転』（99）、『幻の三井百貨店』（04）、『日韓企業戦争』（07）、『日本企業のグローバル・マーケティング』（共著、09）、『AJINOMOTO グローバル競争戦略』（12）など多数がある。

専門分野は、マーケティング戦略、グローバル・マーケティング、地域経営・地域ブランディングなど。



<講演要旨>

企業持続の因子とは何か。継承と革新、不易流行を大きなテーマに、「企業持続の経営哲学」の序論として、江戸時代に生まれた商人の実利的道徳（商人道）から、明治から終戦までの産業報国を軸にした士魂商才を経て、さらには情報社会化・グローバル化が進んでいる現在の経営哲学に至る連続性の有無についての仮説を提唱し、今後の研究課題を提示した。

また企業持続の生命力の柱は、時代を越えて、顧客第一主義を貫くこと（不易）、そのためにイノベーションを切れ目なく実現して、時代のニーズ・ウォンツを満たす顧客価値の創造が必要である（流行）。企業の生命力を維持するのが事業を承継する人間の務めで、経営哲学を実践する堅実経営が必要だ。

研究会参加者：22名